

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

|      |                             |     |          |
|------|-----------------------------|-----|----------|
| お名前  | 相川 来誓                       | 学校名 | 福岡常葉高等学校 |
| 実施学年 | 3学年                         | 教科  | 課題研究     |
| 单元名  | 探究メソッド/探究成果のまとめ方Ⅰ プレゼンテーション |     |          |

### 《学びを深めたいポイント》

今回の授業では、生徒が自分の探究活動で得た内容を、相手に伝わる形でまとめる力を育てることを中心に取り組んだ。プレゼンテーションは、ただ発表するだけでなく、どのように情報を整理し、どの順番で伝えれば相手に理解してもらえるかを考えるプロセスでもある。そのため、スライドの構成や見せ方、説明の仕方を生徒自身が試行錯誤しながら考えられる環境づくりを大切にしたい。

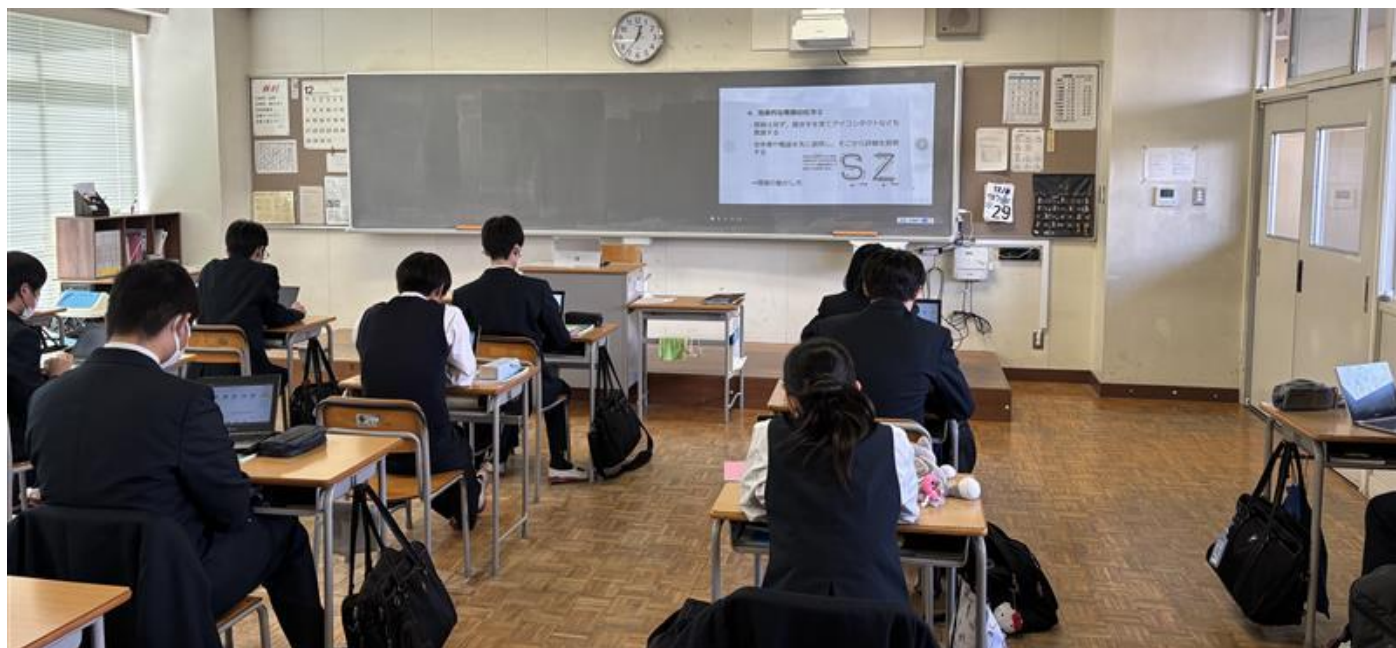
また、クラス全体でさまざまな視点を共有し合えるようにし、生徒それぞれが「良いプレゼンとは何か」を自分なりに言葉にしていける学びを狙った。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

授業は教員端末の「授業開始」からスタートし、生徒は自分の端末ですぐに参加できるようにする。黒板を使わず、プレゼン例やポイントをそのまま生徒端末に配信することで、細かい部分まで見やすくなり、話を聞きながら手元で確認しやすい環境をつくる。

授業の中心では SKYMENU の「気づきメモ」を活用した。「一番印象に残ったプレゼンは？」という問いを投げかけ、生徒全員がその場で書き込み、互いの意見をすぐに見られるようにする。視点の違いや着眼点の広がりがありリアルタイムで共有され、生徒同士が「なるほど、こういう見方もあるのか」と気づきながら学びを深める。また、教室で授業に参加できない生徒も別室から同じように気づきメモを書き込めるため、学習への参加のしやすさも確保する。

(授業の様子)



《実践内容》

|     | 学習活動                                                                                                                            | SKYMENU 活用場面                                  | 活用のポイント                                                                                                                        |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入  | <p>教員：授業開始を実行し、プレゼン例を提示する。</p> <p>生徒：端末で授業に参加し、提示された例を確認する。</p>                                                                 | <p>・「授業開始」で一斉接続</p> <p>・プレゼン例スライドを端末へ配信</p>   | <p>・視認性が高く、全員が同じ資料を正確に確認できる。</p> <p>・黒板を使わずスムーズに授業へ移行できる。</p> <p>・遠隔参加の生徒も同じ資料を閲覧できる。</p>                                      |
| 展開  | <p>教員：プレゼンづくりのポイントを提示し、問いを気づきメモで出題。</p> <p>生徒：ポイントを確認し、自分の意見を気づきメモに書き込む。</p> <p>教員：生徒の書き込みを一覧表示する。</p> <p>生徒：他の生徒の意見も閲覧する。</p>  | <p>・プレゼンづくりのポイントを配信</p> <p>・「気づきメモ」で問いに解答</p> | <p>・全員の意見がリアルタイムに集まり、視点の共有が進む。</p> <p>・普段発言しない生徒も参加しやすい。</p> <p>・意見を見比べながら自分の理解を深められる。</p> <p>・遠隔参加の生徒も同様に書き込めるため学習保障ができる。</p> |
| まとめ | <p>教員：書き込まれた気づきメモを分類し、良いプレゼンの条件を整理して提示する。</p> <p>生徒：全体の意見を振り返り、自分の次のプレゼンづくりに活かすポイントを確認する。</p> <p>生徒：次時のプレゼン作成に向けて明確な見通しをもつ。</p> | <p>・気づきメモの一覧を再表示</p>                          | <p>・振り返りポイントを整理して提示・生徒の意見がそのまままとめの教材として活用できる。</p> <p>・視覚的な振り返りにより理解が定着しやすい。</p>                                                |

## 《実践を振り返って》

SKYMENU を使ったことで、授業の流れが自然とスムーズになった。資料を配ったり黒板に書いたりする時間を短くて、学習の内容にしっかり向き合う時間を確保できたのは大きなメリットだった。特に気づきメモを使った活動では、生徒の意見が次々と画面に表示されることで、その場の雰囲気が活発になり、普段あまり発言しない生徒も参加しやすくなっていた。

遠隔で参加した生徒が、ほかの生徒と同じように意見を書き込み、画面上で共有された内容を見ながら学べたことも良かった点である。授業の中で生徒全員が同じリズムで活動に参加できたことで、学びの機会に差が出にくい環境ができたと感じている。

一方で、プレゼン資料を互いに見せ合いながら協力して改善していくような活動は、まだ十分に組み立てていない部分もある。今後は、SKYMENU の機能をもう少し幅広く使いながら、生徒同士が自然に協力し合える場面を増やしていきたい。

今回の授業を通して、ICT を活用することで生徒の思考を引き出しやすくなり、学び合いの場を広げることができると改めて感じた。今後も授業のねらいに合わせて柔軟に活用し、生徒の探究をさらに深めていけるよう工夫していきたい。

### （取り組み内容）



### （遠隔授業の様子）

